

日本天文学会早川幸男基金渡航報告書

2009年12月10日採択

申請者氏名	井手上祐子 (会員番号 5086)
連絡先住所	〒790-8577 愛媛県松山市文京町2-5 愛媛大学理学部内
所属機関	愛媛大学大学院 理工学研究科
職あるいは学年	D1
任期 (再任昇格条件)	
渡航目的	観測
講演・観測・研究題目	Spectroscopic and Imaging Observations of High-z Galaxies in the COSMOS Field
渡航先 (期間)	アメリカ合衆国 (2010年1月13日～1月24日)

2010年1月15日から19日までの4日間と、20日から21日までの2日間、Keck望遠鏡を用いた分光観測とすばる望遠鏡を用いた撮像観測を行ってきました。2平方度のCosmic Evolution Survey (COSMOS) 領域で高赤方編移銀河の分光と z' バンドの撮像観測を行うことが目的です。

この観測はCOSMOSのプロジェクトの一環であったため、COSMOSの代表者であるNick Scoville氏をはじめとする、COSMOSプロジェクトに参加している海外の共同研究者ら6名が観測に参加しました。すでに会ったことがある研究者がほとんどでしたが、日本からの参加は私のみであったためとても心細い気持ちがありました。しかし、共同研究者の方々はとても友好的で緊張気味な私に気軽に声をかけてくださいました。私自身はKeck望遠鏡を用いた観測を行うのは初めてで尚かつ分光観測の経験もほとんどない状況であったため心配していましたが、共同研究者の方々が丁寧に観測の仕方を教えてくださったため、観測にも徐々に慣れてきてリラックスして観測に臨むことができました。Keckでの観測の最終日には1晩観測を任せて頂きました。この観測で、いかにして観測時間のロスを少なくするかを考慮した観測戦略を学ぶことができ、よい経験をすることができました。Keckでの観測を終えすぐに、すばる望遠鏡を用いた観測が控えていたため、ワイミアからヒロに移動し、すばる望遠鏡での撮像観測に備えました。すばる望遠鏡での撮像観測は何度か参加しているのですが、この観測では私と同じくCOSMOSのメンバーであるカリフォルニア工科大学の大学院生の二人で行うことになり、ちゃんとした観測データが取れるか大変責任を感じていました。すばる望遠鏡での撮像観測を行った2日間は、大きなトラブルもなくスムーズに観測を行うことができました。今回の6日間の観測中は、晴天率が高く、シーイングも良かったため、非常に良いデータを取得することができたと思います。

今回の渡航で観測の技術的なことはもちろんのことですが、コミュニケーションの重要性を再確認することができました。これからも共同研究者らと多くのコミュニケーションを取ることでより一層研究を円滑に進めていきたいと思います。観測中には、研究内容などについても様々なアドバイスをいただくこともできました。今回の観測は私にとって大

きな収穫のあった観測となりました。このような貴重な経験ができましたのも、日本天文学会早川基金からの援助があったからこそです。このような渡航の機会を与えてくださった早川基金に深く感謝申し上げます。